



維新の会は、二重行政の解消のために「大阪都」構想をやるんだと言っていました。その典型例が府市の大学の統合でした。

しかし、民意は「反対」の意思を示し、大阪市の存続が決まった。大阪府は市立大学として大学を存続させるという、世論に従った結論を下すべきです。この民意に従い、これを生かしていくのが政治のあるべき姿だと思います。

愛知県には、愛知県立大学と名古屋市立大学があります。京都にも府立大学と市立の大学がある。これらは、二つあるからといって問題になっているわけではないと思うんですね。大学は必要

大阪府立大学問題を考える会代表 野沢 倫昭さん

教育介入する首長 選ばない

だから存在し、住民のために教育や研究をしているんですよ。

大学をどうしていくか、大学が発展するにはどうしたらいいのかについては、大学の関係者ですっかりと議論するべきであって、知事や市長がやりたいことを押し付けるようなことはやめるべきです。

府議会、市議会の議員が新しく選挙で選ばれ、住民投票で大阪府が存続するという結果が出たもので、次の府知事、大阪市長の選挙は、大学のあり方を左右する点でも非常に重要な選挙です。

次の選挙では、大学の自治を尊重し、大学自身がそのあり方を決めていくということを受け止める知事や市長を選ばなければいけません。

維新の知事や市長では、それはできないと思いますね。

(聞き手 笹川神由)



大阪市長は、当初、市大と府大は「首都大学東京と比較してお金がかかる」と言っていたのに、「神戸大学のような強い大学をつくる」と言い分を変え

住民投票で「大阪都」構想が否決され、橋下(徹)市長が松井(一郎)知事とともにつくった府市統合本部は廃止することになりました。大学の統合問題も白紙にすべきだと思えます。

橋下市長は、当初、市大と府大は「首都大学東京と比較してお金がかかる」と言っていたのに、「神戸大学のような強い大学をつくる」と言い分を変え

新しい大阪へ

さらば維新政治

大阪市長は、市大と府大の統合問題で大学リストラを大阪で先取りして、中央からの支持を得ようとしているところがあります。コンサルティング会社「マッキンゼー」の共同経営者だった上山信一氏(慶応義塾大学教授)が、府市の特別顧問や大阪府市新大学構想会議の委員を務め、大阪で大学統合の先行的役割を果たしてきました。今、市大の運営は、橋下市長が集めてきたそういう人たちに握られています。

大学自治守る知事・市長こそ

した。つまり、ご都合主義なんです。

橋下市長は、市大と府大の統合問題で大学リストラを大阪で先取りして、中央からの支持を得ようとしているところがあります。コンサルティング会社「マッキンゼー」の共同経営者だった上山信一氏(慶応義塾大学教授)が、府市の特別顧問や大阪府市新大学構想会議の委員を務め、大阪で大学統合の先行的役割を果たしてきました。今、市大の運営は、橋下市長が集めてきたそういう人たちに握られています。

次府知事、大阪市長は、大学の自治を守る人でなければいけません。今までは、大学の自治に介入したり、とても乱暴な運営をしていたので、大学の伝統や歴史を理解してくる人が知事や市長になつてほしいですね。

(聞き手 笹川神由)